第 46 回 (令和 4 年第 1 回) 暁木会· KTC · 神戸大学意見交換会 議事録

■日 時: 2022 年 7 月 14 日(木) 16 時 40 分~18 時

■場 所:神戸大学 工学研究科 D1 棟 2 階 大会議室

■出 席 者: 神戸大学 芥川先生、森川先生、織田澤先生、竹山先生、加藤先生、齋藤先生、

橘先生、橋本先生、三木先生、銭谷先生、瀬木先生、

暁木会 金治会長、新見副会長、井上幹事、田中幹事、中屋幹事、上田幹事、

奥西幹事

KTC 室井副理事長

■議 事:

1 暁木会会長あいさつ

金治暁木会会長よりあいさつ

2 KTC 副理事長あいさつ

室井 KTC 副理事長よりあいさつ

3 市民工学専攻長あいさつ

織田澤市民工学専攻長よりあいさつ

4 学術振興基金助成金の贈呈

金治会長から織田澤専攻長へ学術振興基金助成金が贈呈された

<意見交換会>

5 自己紹介

参加者から自己紹介

- 6 暁木会からの報告
 - 〇令和3年度暁木会総会の報告(資料 P3)
 - ・令和3年度暁木会総会が令和4年3月25日に開催。総会の開催状況を報告
 - ・例年開催している懇親会は新型コロナ感染症対策を踏まえ自粛

〇暁木会総会における課題

- ・新型コロナ感染症の影響を踏まえ、近年は中止や規模縮小での開催としている状況
- ・総会は、新会員を歓迎する場に加え、先生方や卒業生、修了生が一同に会する場と いうこともあり、より多くの関係者が参加できる形式について検討していく
- ・懇親会の実施について、新型コロナウィルス感染症対策の状況を踏まえ検討していく

〇年間行事予定

令和 4 年度は新型コロナの感染状況が比較的緩和するのでは、という前提でコロナ前の状況を踏まえた行事予定を予定しているが、状況次第では変更の可能性もある

○暁木会ニュースの発刊について

・9 月発行予定の暁木会ニュースの目次案について報告

・例年名簿発行年は3回暁木会ニュースを発行していたが、コロナ禍もあり記事が集まり にくいという実態も踏まえ、今年度は名簿発行年ではあるが2回の発行とする予定

〇暁木会をとりまく継続的な課題(会費会員の増強について)

- ・特に 40 歳未満の層の加入率が低く、若年層への PR にも力を入れていきたい
- ・助成金の使途についてもしっかりPRしていきたい

7 KTCからの報告

- ○KTC の第1回企画委員会開催(6/28)について報告
- ○会員の加入状況が減少している状況を踏まえ、従前実施している新入生に対する入学 時ガイダンスでの KTC への勧誘活動について、開催時期の見直し等について、まずは 市民工学研究科を対象に試行の位置づけとして検討していきたい

8 大学側からの報告(織田澤先生)

- ○今年度から対面授業を開始し、出席率もかなり高い状況
- ○研究室を超えた交流の促進や学生の部屋移動に対する負担軽減等、学生の研究環境 の改善を目的として、小割り部屋の一部大部屋化を実施予定
- ○現場見学会について暁木会会員の協力も踏まえ、2回生を対象に9月末に開催予定

9 その他(意見交換)

意見交換時の主な意見については以下のとおり

- ・
 ・
 暁木会が学生に十分に周知がされていないのでは。組織としては認識しているが、関わる機会が少なく、
 ・
 ・
 た会と接する機会が増えれば認識も増すのでは。
- ・懇親の場の創出など、きっかけを作ることでいろんな意見が出てくる。 きっかけを作ることが大切。
- ・過去に加入者が急増した年には OB との懇談の場を設けた例もある。
- ・暁木会ニュースを大学 HP 上でも閲覧できる形にするなどの連携もあるように思う。
- ・会費が何に使われているかわからない方も多いと思うので、助成金が具体的に何に使われているか、HPやニュースレターなど、様々な媒体で PR することも大事。
- ・入学時と卒業時以外に暁木会・KTC と学生とが接点を持つことは非常に良いと思う。
- ・就職活動のタイミングが早くなってきていることを受け、5 月くらいに業界説明を実施頂けるとインターンシップに参加する学生にとって効果的な情報提供の機会になる。
- 若い先輩と話をしたいというニーズがあるのではないか。
- ・コロナ禍が非常にまん延し混乱した時期、暁木会からの支援を受け、オンライン教材や 貸し出し用のルーターを準備させて頂いた。大学側も誰からの支援なのかをしっかり伝 えるべきと思う。
- ・就職活動において、会社からのサポートはほとんどが暁木会 OB だが、あくまで神戸大 OB としてであり、OB 側も暁木会をあまり認識していないのでは。
- ・大学 HP が改訂され、インスタもできるようになっており PR の舞台が整いつつある そうしたコンテンツを使いこなしていくことも大切。

10 閉会の挨拶

金治暁木会会長より閉会のあいさつ